MITSUBISHI

1012875HB9201

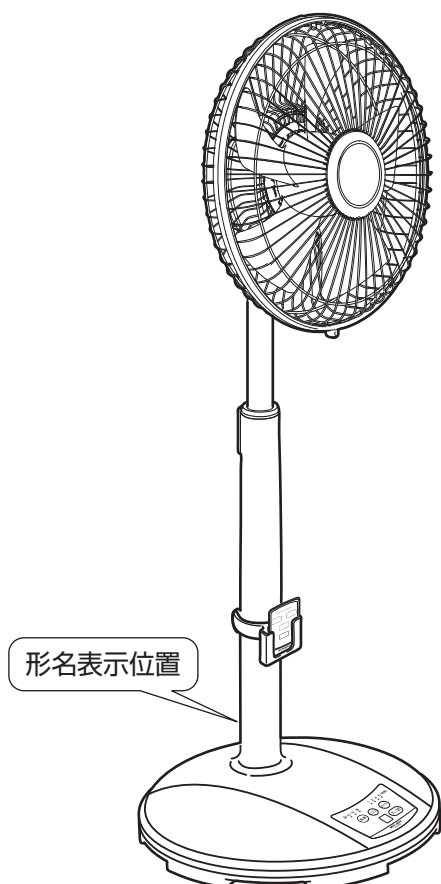
三菱扇風機 30cmハイポジション扇

形　名

R30J-HRM（K）

取扱説明書

保証書付

もくじ　　ページ

このたびは三菱扇風機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
  なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。
- 小さなお子さまが製品に触れないよう十分ご注意ください。
  ※羽根や首振り機構、高さ調節機構などの可動部に触れるとけがをするおそれがあります。
- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめてください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
  No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- 電源コードをステップルや釘などで固定しない
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電しない。また、物をのせたり、挟み込んだりしない
  (電源コードが破損し、火災や感電の原因になります)
- 電源コードやプラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
  (感電・ショート・発火の原因になります)
- リチウム電池を幼児の手の届くところに置かない
  (飲み込むおそれがあります)
- 羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない
  (モーター部が飛び出してけがをするおそれがあります)
- 羽根・ガード・ベースを付けずに運転しない
  (転倒したりけがをするおそれがあります)

分解禁止

- 改造や必要以上の分解をしない
  (火災・感電・けがの原因になります)

水ぬれ禁止

- 製品やリモコンを水につけたり、水をかけたりしない
  (ショートや感電のおそれがあります)

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
  (感電のおそれがあります)

プラグを抜く

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
  (通電状態では感電やけがをすることがあります)

指示に従い必ず行う

- 交流100Vを使用する
  (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります)
- 電源プラグについたほこりは清掃する
  (ほこりが付着すると漏電火災の原因になります)
- 電源プラグはがたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む
  (差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります)
- 包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する
  (誤ってかぶったとき窒息し死亡するおそれがあります)
- 製品の組立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う
  (部品がはずれてけがをするおそれがあります)
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止する
  (そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがに至るおそれがあります)
  〈異常・故障例〉
  ・電源コードやプラグが異常に熱い
  ・電源コードに深いキズや変形がある
  ・首振り運転中やコードを動かすと通電したりしなかったりする
  ・焦げくさい臭いがする
  ・ビリビリと電気を感じる
  ・スイッチを入れても動かない　等
  ※すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検、修理を依頼する

注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

- 本製品は一般家庭用です。つぎのところでは使わない
  温室、ビニールハウスなど湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ、室外や40℃以上の高温になるところ、ガスレンジなど炎の近く、綿ぼこりや砂ぼこりの多いところ、常に10℃以下になる低温なところ、引火性ガスのあるところ、工場内など油のつきやすいところ、有機溶剤を使用しているところ、直射日光等、強い紫外線の当たるところ
  (感電・火災・破損・故障のおそれがあります)
- 風を長時間、からだにあてない
  (健康を害することがあります)
- カーテン・障害物のそばや不安定な場所では使用しない
  (転倒や転倒による部品の破損により、けがをするおそれがあります)
- 製品を引きずらない　(床に傷が付くおそれがあります)
- 製品組立て状態での輸送は行わない。輸送する際は箱に収納する
  (製品・部品が破損するおそれがあります)
- スライドパイプに油などをつけない
  (パイプが急に下降して、けがをするおそれがあります)

プラグを抜く

- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
  (けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります)

接触禁止

- ガードの中や可動部へ指や物などを入れない
  (けがをするおそれがあります。とくに小さなお子さまにはご注意ください)
- 後ガードに顔を近づけない
  (髪の毛が羽根に巻き込まれるおそれがあります)

指示に従い必ず行う

- 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
  (羽根やガードがはずれて落下し、けがをするおそれがあります)
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
  (感電やショートして発火することがあります)
- 取りはずし・組立て・お手入れの際は手袋を着用する
  (着用しないとけがをすることがあります)
- 高さ調節、風向きを変える、持ち運びを行う際は、必ず運転を停止させてから行う
  (けがをするおそれがあります)
- リモコンの乾電池の取扱いは以下を守ること
  (＋)(－)を正しく入れる。ショートさせたり、分解、加熱、火に入れるなどしない。充電しない。使い切った乾電池はすぐに製品から取り出す
  (電池の使いかたを誤ると液漏れ、破裂、発熱のおそれがあり、けがや故障の原因となります)

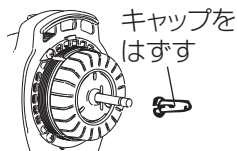
各部のなまえと組立てかた

⚠警告

- **製品の組立ては取扱説明書通りに行う**（部品がはずれてけがをするおそれがあります）
- **羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない**（モーター部が飛びだしてけがをするおそれがあります）
- **羽根・ガード・ベースをつけずに運転しない**（転倒したりけがをするおそれがあります）
- **電源コードはベース脚で踏みつけない**（電源コードが破損し、火災や感電の原因になります）

⚠注意

- **取りはずし・組立ての際は手袋を着用する**（着用しないとけがをすることがあります）

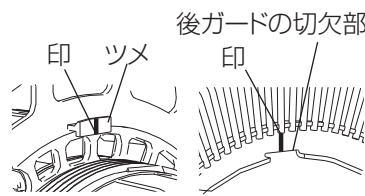
1 組立てる前に

収納時のため包装箱、ポリ袋、キャップ（モーター軸のさび防止）は捨てないでください。

お願い

- **スタンドは単体では立ちません。組立て前は横向きにして、置いてください。**

3

後ガードの切欠部をツメに引っ掛ける。

- **印同士をあわせる**

付属部品

梱包場所は8ページを参照してください

リモコンホルダー	リモコン	リチウム電池（CR2025）

後ガード

前ガード

ガード止めナット（右に回す）

羽根

シマル

シマル

取っ手

首振りつまみ

モーター部

モーター軸

スライドパイプ

高さ調節ボタン

スタンド

電源プラグ

電源コードは床面とベース脚で挟まない位置に出してください

本体操作部

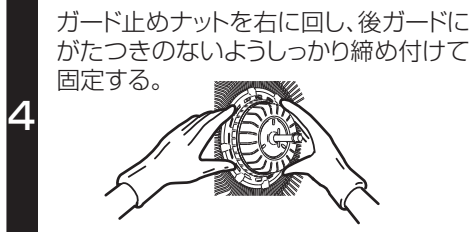
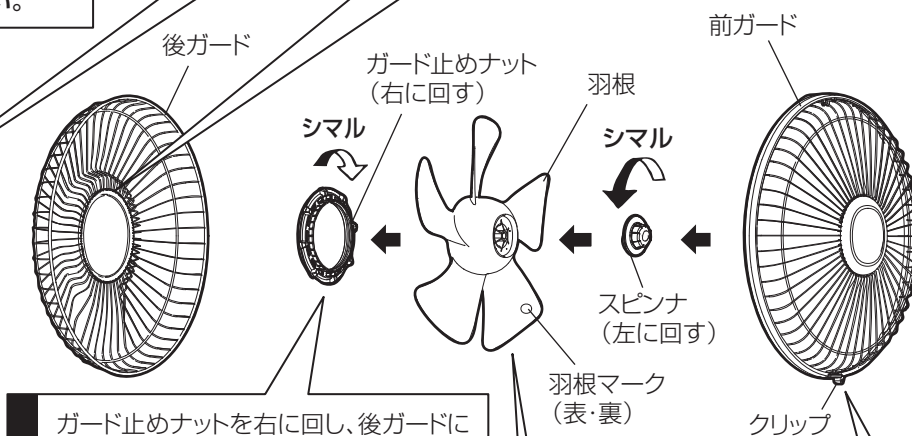
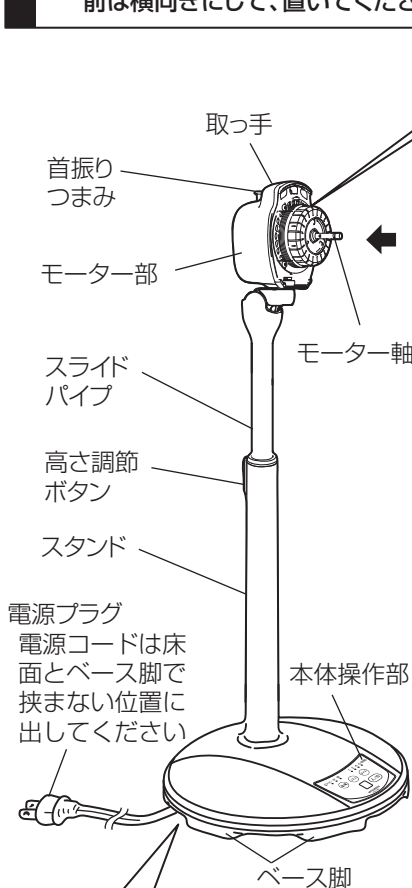
ベース脚

スピンナ（左に回す）

羽根マーク（表･裏）

クリップ

お願い

- **危険防止のため「羽根マーク」は取らないでください。**

4

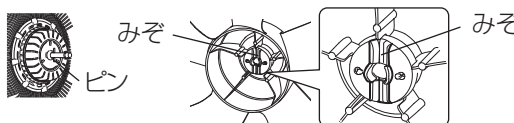
ガード止めナットを右に回し、後ガードにがたつきのないようしっかり締め付けて固定する。

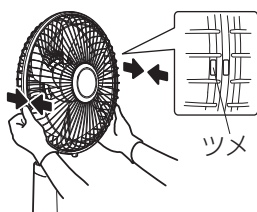
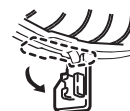
5

①羽根をモーター軸に差し込む。

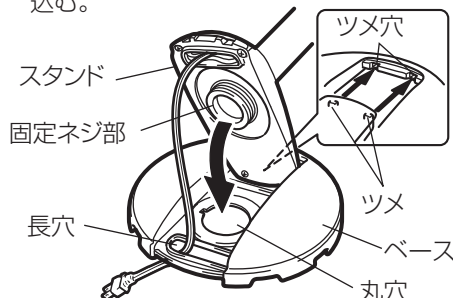
- **羽根のみぞをモーター軸のピンに合わせる**

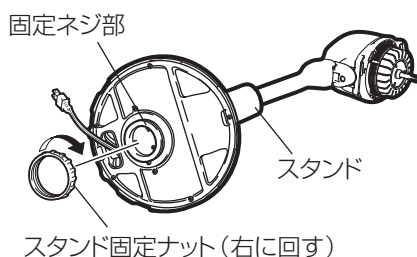
②スピンナを左に回して固定する。

6

①前ガードを後ガードの印に合わせて引っ掛ける。

②両手で上から順にツメ部左右3か所を「パチン」とはめ込む。

③クリップで固定する。

- **前ガードはガード外周部を持って取付ける**

2

①電源コードをベースの長穴に通し、スタンドのツメをベースのツメ穴に引っ掛け、ベースの丸穴に固定ネジ部が入るよう静かにスタンドをベースにはめ込む。

②スタンドとベースの連結がはずれないようにゆっくりと横向きにする。

③固定ネジ部をスタンド固定ナットでネジ山を合わせてかたむきのないようにしっかり固定する。

使いかた

⚠注意

- **ガードの中や可動部へ指や物などを入れない。**(けがをするおそれがあります。とくに小さなお子さまにはご注意ください)
- **後ガードに顔を近づけない。**(髪の毛が羽根に巻き込まれるおそれがあります)

1　電源プラグを差し込む

※電源プラグを差し込むと「ピッ」と音が鳴ります。

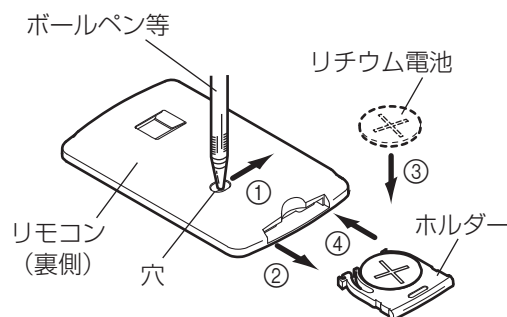
メモ　電源プラグがコンセントに差し込まれているときは、運転を停止していても操作部・スタンドの一部が暖かくなります。
電子回路の待機時消費電力(約0.5W)によるもので故障ではありません。

2　リモコンに電池を入れる

付属のリチウム電池(CR2025)を入れる。

①裏側の穴にお持ちのボールペン等を差し込み矢印の方向にスライドさせた状態で、
②ホルダーを引き出す。
③ホルダーにリチウム電池の⊕を上側にしてのせる。
④電池をのせたホルダーを「カチン」と音がするまで押し込む。

お願い

- 電池は必ずホルダーにのせてから差し込んでください。
- 指定以外の電池は入れないでください。
- リモコンは落下など強い衝撃を加えないでください。
- リモコンの上に物を置いたり、踏みつけるなどしないでください。

3　本体およびリモコンの操作

本体操作部の表示ランプを確認しながらボタンを押して操作する。

・ボタンを押すと本体から「ピッ」と音が鳴ります。
　※本体操作部とリモコンのボタンの機能は同じです。

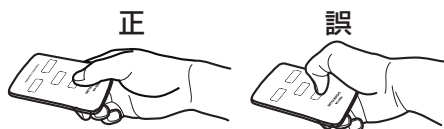
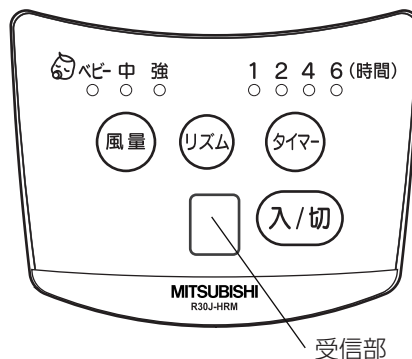
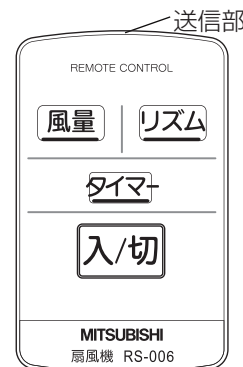
お願い

- リモコン操作は送信部を受信部に向けて操作してください。
- ボタンの操作は中央部を軽く押してください。
  端を押したり、つめの先で押すと操作できないことがあります。また、破損の原因になることがあります。

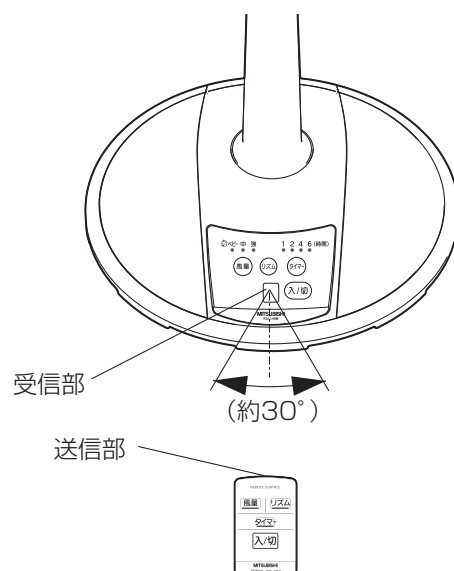
本体操作部

ベビー　中　強　1　2　4　6(時間)
風量　リズム　タイマー　入/切
MITSUBISHI
R30J-HRM
受信部

リモコン操作部

送信部
REMOTE CONTROL
風量　リズム
タイマー
入/切
MITSUBISHI
扇風機　RS-006

メモ　**リモコンの操作範囲について**

・受信部から約4m、正面を中心に左右に約30゜以内です。
送信部が床面に近いときはこの範囲でも操作できないことがあります。
感度が悪くなった場合は新しいリチウム電池（市販品：CR2025）に交換してください。

・次のところではリモコン操作ができないことがあります。
本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ、インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ、本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ、テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすいところ。

使いかた　つづき

（1）運転および停止する

1.入/切ボタンを押す。

・運転を開始し、風量ランプが点灯します。
　※はじめに入/切ボタンを押さないと他のボタン操作はできません。

2.停止するときはもう一度入/切ボタンを押す。

・運転を停止し、風量ランプが消灯します。

メモ　**メモリー機能について**
本機は停止した前の状態（風量）を記憶するメモリー機能を搭載しています。入/切ボタンを押すと、停止前の風量で運転を開始します。ただし、電源プラグを抜いた後や停電した後に運転するときはメモリーが解除され、「ベビー」で運転を始めます。おやすみタイマーはメモリーされません。

（2）風量を切り換える

風量ボタンを押す。

・ボタンを押すごとに風量とランプが切り換わります。

※ベビーは中より弱い連続風です。

（3）リズム風を使う

リズムボタンを押す。解除するときはもう一度押す。

・リズム風運転中はベビー・中・強のいずれかのランプが点滅します。
　※リズム風は自動制御で風量に変化をつけた風です。
　※リズム風は運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがありますが、故障ではありません。

（4）おやすみタイマーを使う

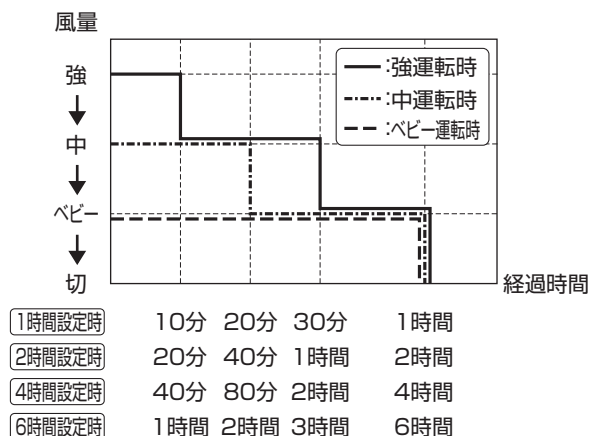
運転中にタイマーボタンを押して時間をセットする。

・ボタンを押すごとにタイマー時間とランプが切り換わります。
　※おやすみタイマーは右図のように時間の経過とともに風量が自動で弱くなる機能です。
・セットと同時にタイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると停止します。
・セット時間は1,2,4,6時間から選択できます。
・タイマー時間は目安です。

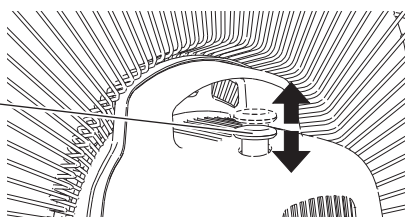
メモ　・時間の経過とともに風量・タイマーランプが移り変わり、運転状態を表示します。
・タイマー運転中に風量切り換え、またはリズム風操作をしてもタイマー残り時間は維持されます。

1時間設定時	10分	20分	30分	1時間
2時間設定時	20分	40分	1時間	2時間
4時間設定時	40分	80分	2時間	4時間
6時間設定時	1時間	2時間	3時間	6時間

⚠注意

●**風を長時間からだにあてない**
（健康を害することがあります）

使いかた　つづき

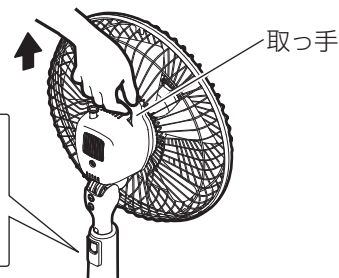
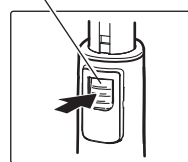
4　首振り運転をする

首振りつまみを操作する

5　高さを調節する

⚠注意

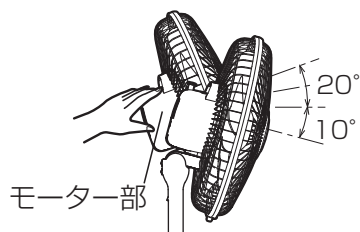
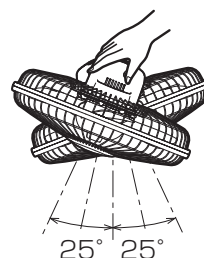
- **高さ調節、風向きを変える、持ち運びを行う際は、必ず運転を停止させて行う**
(けがをするおそれがあります)

高さ調節ボタンを押し、取っ手を持って上下させる。

・最下部・中間・最上部の合計3か所でスライドパイプがロックできます。
それ以外は自由に上下できます。

6　風向きを変える

スタンド部を軽く押さえて、モーター部を上下・左右に動かす。

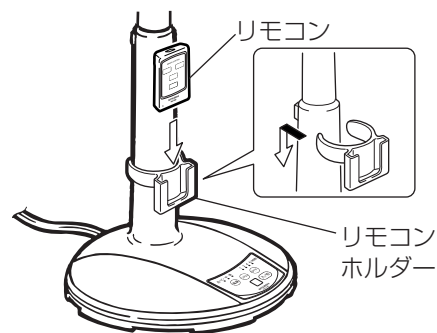
・操作時に「カチカチ」と音がします。

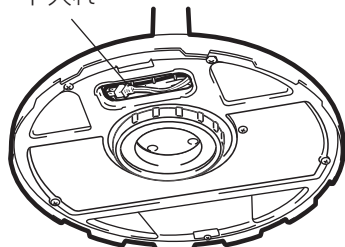
- 上下角度調節
上向きに2段階、下向きに1段階風向きを変えることができます。

- 首振り中心の調節
スタンド正面を中心に左右それぞれ2段階、25°まで首振り中心をずらすことができます。（設定した位置を中心に85°首振り動作を行います）

7　リモコンの収納

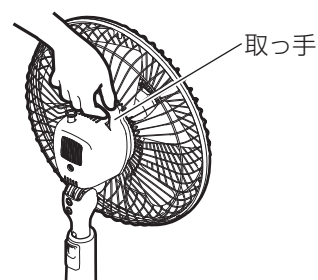
リモコンホルダーをスタンドにはめ込み、リモコンを納める。

- リモコンホルダーを正面に向け、スタンドの上部（細い部分）にはめ込み、下に下げる。

お願い

- 無理に下げないでください。（下げ過ぎると傷付き、破損の原因となります）

8　コードの収納

収納時はコード入れに納める。

9　持ち運び

モーター部を下に押し下げ、パチンと音がしてスライドパイプがロックしたことを確認してから取っ手を持って持ち運ぶ。

お手入れと保管

⚠警告

- **製品の組立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う**
  （部品がはずれてけがをするおそれがあります）
- **羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押さない**
  （モーターが飛びだしてけがをするおそれがあります）
- **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く**
  （通電状態では感電やけがをすることがあります）

⚠注意

- **取りはずし・組立て・お手入れの際は手袋を着用する**
  （着用しないとけがをすることがあります）

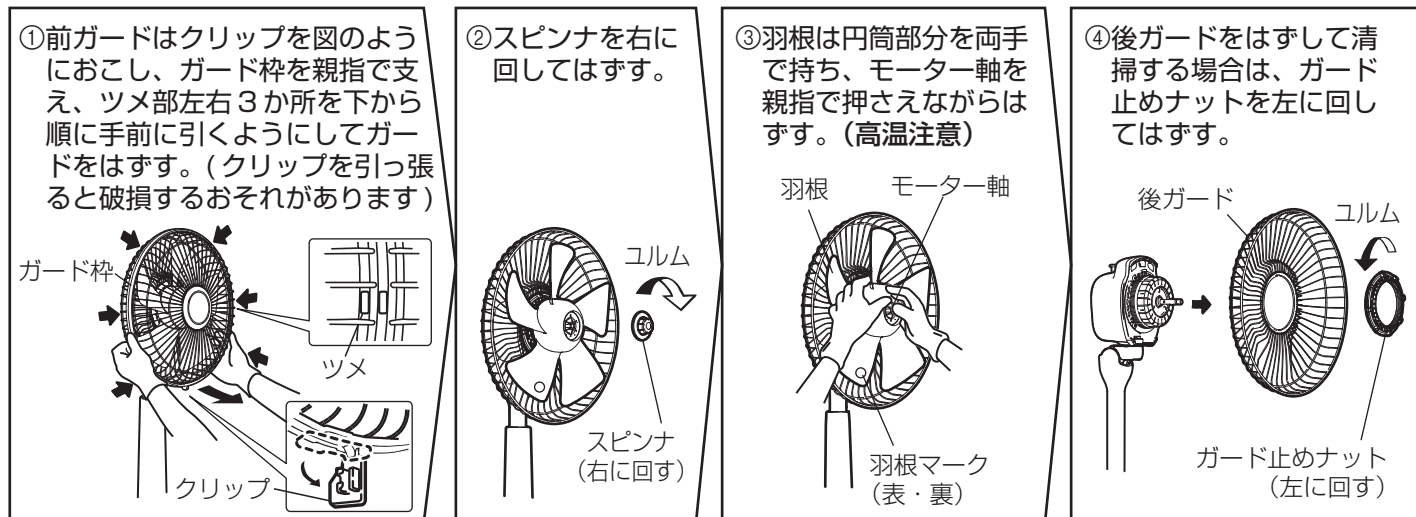
〈お手入れ〉

運転直後はモーター軸が高温になっていますので、お手入れは運転停止後30分程度待ってから行ってください。

①前ガードはクリップを図のようにおこし、ガード枠を親指で支え、ツメ部左右３か所を下から順に手前に引くようにしてガードをはずす。（クリップを引っ張ると破損するおそれがあります）

②スピンナを右に回してはずす。

③羽根は円筒部分を両手で持ち、モーター軸を親指で押さえながらはずす。**（高温注意）**

④後ガードをはずして清掃する場合は、ガード止めナットを左に回してはずす。

- 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取る。
- モーター部のほこりは掃除機等で取る。

※可動部（モーター、首振り機構部など）への注油の必要はありません。

お願い

- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色の原因になります）
- **危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は取らないでください。**
- **スプレー〈掃除用、殺虫用、整髪用など〉をかけないでください。（破損・変質の原因となります）**
- **お手入れの際、羽根・ガード等に強い衝撃を与えないでください。（破損するおそれがあります）**

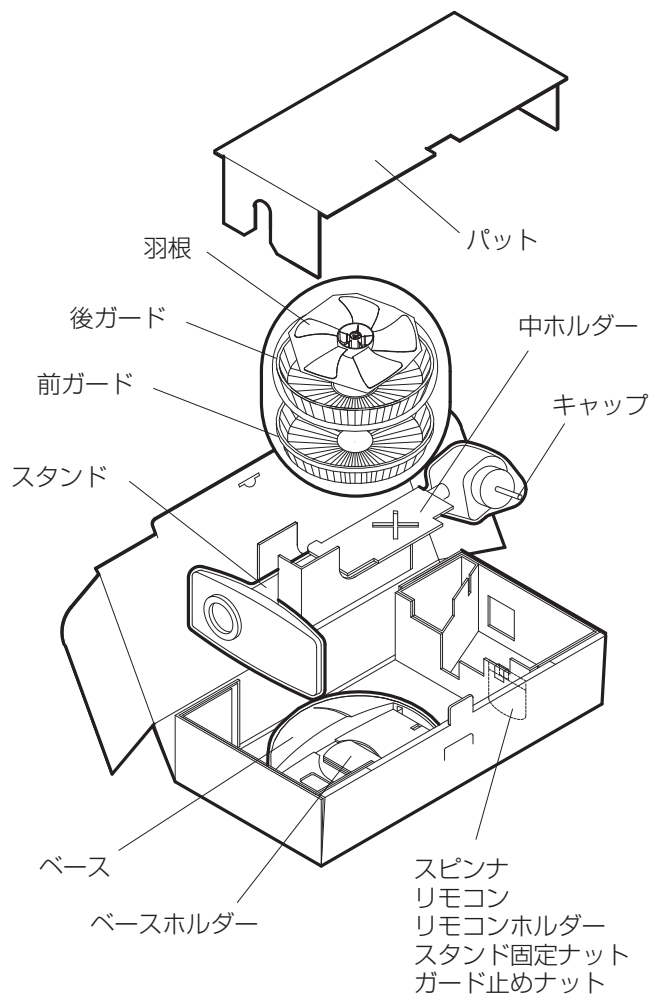
〈保管〉

⚠注意

- **製品組立て状態での輸送は行わない**
  輸送する際は箱に収納する
  （製品・部品が破損するおそれがあります）

収納のしかた

1. ベースをポリ袋（中）に入れ、図の方向にしてベースホルダーの突起部に合わせて収納する。
2. 中ホルダーをベース中央部に入れる。
3. スタンドはモーター軸にキャップをかぶせ、ポリ袋（大）に入れ、支柱部を中ホルダーの溝に合わせて収納する。
- モーター部を正面に向けて収納してください。
  正面に向かない場合は、首振り運転させて向けてください。
4. 前ガード、後ガード、羽根を図の方向に積み重ね、ポリ袋（中）に入れ、中ホルダーの上に収納する。
5. スピンナ、リモコン、リモコンホルダー、スタンド固定ナット、ガード止めナットをポリ袋（小）に入れ収納する。
6. パットを差し込む。

※湿気の少ないところに保管する。

「故障かな？」と思ったら

次のような症状があれば点検してください。
（３ページ「各部のなまえと組立てかた」、４～６ページ「使いかた」、７・８ページ「お手入れと保管」参照）
点検処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店に点検・修理を依頼してください。費用についてはお買上げの販売店と相談してください。

こんなとき	原　　因	点検・処置	参照ページ
運転しない	電源プラグが抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込む	4
リモコンで操作できない	電池が古くなっていませんか	新しい電池に入れ替える	4
	⊕⊖が逆になっていませんか	電池の向きを正しく入れる	
	距離が遠すぎませんか	受信範囲内で操作する	
	受信部が汚れていませんか	汚れを取り除く	
・運転中に異常音や振動がある ・羽根が回らない	羽根にガード、ガード止めナットが当たっていませんか	ガード止めナットを緩みのないように正しく確実に締め付ける	3
	後ガードの向きは正しく取付けられていますか	後ガードを正しい方向に取付ける	
	スピンナ、ガード止めナットが確実に締め付けてありますか	緩みのないように正しく確実に締め付ける	
モーター部分が異常に熱い	ほこりがたまっていませんか	ほこりを取り除く	7
操作部・スタンドの一部が暖かい	電子回路の消費電力によるもので故障ではありません		4
羽根がときどき止まる	リズム風ではありませんか	リズム風は運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがありますが、故障ではありません	5
おやすみタイマー運転で風量が変わる	おやすみタイマー運転では時間経過とともに風量が弱くなります		5
首振りが左または右に偏る	首振り中心の調節によるものではありませんか	首振り中心の調節を行う	6

仕　様

（強運転の場合）

形　名	電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	最大風速 (m/s)	風量 (m^3/h)	首振角度 (度)	質量 (kg)	コードの長さ (m)
R30J-HRM(K)	100	50	30	2.9	2200	85	4.8	1.9
		60	34	2.8	2150			

※運転停止状態で電源プラグがコンセントに差し込まれているときの消費電力は約0.5Wです。(電子回路が操作を受付けるために必要な電力です)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

●**本体への表示内容**

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体に西暦4桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】12年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

●運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（下表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
●設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　　（JIS C9921-1による）

大項目	中項目	小項目	備　考
環境条件	電圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	30℃	JIS Z8703の試験状態を参考
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取扱説明書による
負荷条件		定格負荷（風速）	仕様（P.9）による
想定時間等	1日あたりの使用時間	8（h/日）	
	1日使用回数	5（回/日）	
	1年間の使用日数	110（日/年）	
	スイッチ操作回数	550（回/年）	
	首振運転の割合	100（%）	

（経年劣化とは）
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

保証とアフターサービス

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へお申しつけください。
お買上げの販売店にご依頼できない場合は、各窓口へお問い合わせください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー 365日
0120-139-365（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655 （有料）

■ご相談対応 平　日 9：00〜19：00
土・日・祝・弊社休日 9：00〜17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル
0120-56-8634（無料）

インターネット
www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111 （有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901 （有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K10A

補修用性能部品の保有期間について

●当社はこの三菱扇風機の補修用性能部品を、製造打切り後8年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証（保証書）について

●保証書は、所定の事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
●保証期間は、お買上げ日から１年間です。保証書の記載内容によりお買上げの販売店が修理致します。
その他詳細は、保証書をご覧ください。
●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

※ダウンロード版は保証書を削除しています。

お客さま メモ		
サービスを依頼されるとき便利です。	形　　名	
	お買上げ年月日	年　　月　　日
	お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。「材質名は主材料にISO規定の略号を使用」

販売元　株式会社　三菱電機ライフネットワーク
〒135-8071　東京都江東区有明3-6-11（TFTビル東館7F）